

②川北一人・加藤大明・樹神博士・柴田裕介・竹本大吾 (2009) 「植物の感染防御応答とNO」 実験医学増刊 活性酸素シグナルと酸化ストレス,羊土社,東京, 232-237.

③竹本大吾・田中愛子・Barry Scott (2008) 牧草共生糸状菌の共生確立機構 活性酸素生成の役割について. ゲノム情報を活用した植物感染生理学の展望. 石井英夫ら編, 日本植物病理学会, 東京, 44: 131-138.

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~byori/>

6. 研究組織

(1)研究代表者

竹本 大吾 (TAKEMOTO DAIGO)

名古屋大学・大学院生命農学研究科・助教

研究者番号：30456587